

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい社会 地図</h1>	2 東 書
内 容	<p> ＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ○地域の大まかな特色を理解させるために、自然・産業・人口などの主題図を「基本資料」として掲載し、基本的な知識の定着を習得できる工夫がされている。 ○世界の地域に関するページでは、「注目したい記号」が示されており、各州・地域ごとの特色に目を向けやすく、地理的技能を身につける工夫がされている。 </p> <p> ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○世界の各州、日本の各地方の「テーマ資料」では、探究課題の考察に役立つ資料が多く掲載されている。 ○教科書に掲載されている資料とは異なる視点で見た場合の資料が掲載されており、学習の深化が図られる工夫がされている。 </p> <p> ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○世界における日本の役割や取り組みを紹介した資料が掲載されており、日本が国際社会で果たしている役割を通して、社会参画への意識を高めることが期待できる。 ○歴史的分野や公民的分野での活用も見据えた構造になっており、「歴」マークなどが記されている。 </p> <p> ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○世界、日本の諸地域学習で活用できるように、「一般図→各地域の特色をつかむための『基本資料』→探究学習に役立つ『テーマ資料』」の流れとして構造化されている。 ○SDGsを中心に現代的な諸課題の解決に向けた学習活動を行なえる工夫がされている。 </p>	
資 料	<p> ○教科書との連携が図られており、教科書の本文や資料を補ったり、追究するための資料が掲載されたりしている。 ○地名の索引とは別に「地形」「気候」などのテーマごとの資料索引のページが設けられている。 </p>	
表記・表現	<p> ○資料のポイントなどを示したキャラクターに吹き出しがあることで、資料を読み取るための補助的な役割が期待できる。 ○文字にユニバーサルデザインフォントが使われている。 </p>	
総 括	<p> ○巻頭の特集ページでSDGsを中心に課題を捉えさせる工夫がなされている。 ○地理の教科書や歴史・公民分野との連携を意識した構造となっており、活用の場面が多く持てることが期待できる。 ○世界・日本の諸地域で学習を進めるにあたって有効な構造となっている。 </p>	

書名 項目	<h1>中学校社会科地図</h1>	4 6 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 帝 国 </div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の各州の学習では、全ての州でイラストを盛り込んだ鳥瞰図が掲載されており、地域的特色や語句などを視覚的に捉えることができる。 ○「地図活用」で問いを設置し、問いの中で生徒自身が地図や資料を読み取り活用する中で、技能を身につけさせることができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の各州の学習、日本の各地方の学習の資料では、同縮尺の図・資料が掲載されており、比較や重ね合わせて見ることで様々な要因から事象を検証することができる。 ○日本中心の地図だけでなく、ヨーロッパ中心の地図が掲載されていたり、ユーラシア大陸側から日本を眺めた地図を掲載したりことで多角的な視点を持つことができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図帳を主体的に活用することができるように二次元コードが掲載されている。 ○歴史の学習や修学旅行・校外学習においても活用できる資料が掲載されている。 <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地図活用」で問いを設置し、知識や技能を活用した課題追究をすることができる。 ○巻頭・巻末の資料では資料タイトルの隣に学習課題が設けられており、テーマごとの着眼点となっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○索引にもユニバーサルデザインフォントが使われていたり、行間にゆとりを持たせたりし見やすさの工夫がある。 ○二次元コードを活用することで、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面全体にユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○レイアウトの統一化がされている。 ○聴覚障がいのある生徒やインクルーシブ教育に配慮し、地名を手話で表すコーナーが設けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面が大判化（A 4判）しており、1 ページあたりの掲載面積が増え、地図も広く各地方全体が見やすいものとなっている。 ○「地図活用」は、地図や資料を活用する場面を意図的に設置しており、問いを解決していく中で基本的な技能や多角的な見方が深まっていくことが期待できる。 ○二次元コードを使用することで紙面に留まらない探究活動が可能となっている。 	